

## アロー エレクトロニクスとインフォシス BPO が共同で IT 資産 ライフサイクル管理サービスを販売

**インド バンガロールおよび米コロラド州イングルウッド (2013年11月12日):** 電子部品とエンタープライズコンピューティング ソリューションの世界的プロバイダーであるアロー エレクトロニクス (NYSE: ARW) とインフォシス BPO は、本日、米国顧客に対しインフォメーション テクノロジー資産ライフサイクル管理の包括的サービスを共同で販売することで合意した旨を発表しました。両社は、資産の調達、開発、構成、サポートおよび廃棄・処分を含むエンド ツー エンドの IT 資産管理サービスを提供することになります。

今やハイテク、製造、通信、銀行、小売り、一般消費財業などあらゆる産業の企業は、アロー社とインフォシス共有の専門知識を活用して、自社の IT 資産ライフサイクルを今までよりも費用効率良く管理することが可能です。これにより、ラップトップやデスクトップPC、モバイル機器、エンタープライズクラスの装置やその他のハードウェアの修理、転売またはリサイクルも容易になります。また、両社のリソースが一体となり、企業がより容易に法的要件に準拠し、IT 設備の管理にかかわるサステナビリティ対策を強化できるよう支援していきます。

アロー社の価値回収事業は、逆方向の資材の流れやIT 資産回収、中古販売サービスなどに特化した管理を提供します。これにより、テクノロジーの利用者はIT 製品ライフサイクルの終盤で多大な効率と価値を生み出すことができます。一方、インフォシスBPO は、業務プロセスの変革、アウトソーシングおよび成熟した世界規模のデリバリ ネットワークの分野における実績ある能力を提供して、これらのソリューションの導入と管理を支援していきます。

インフォシスは10年以上に渡り、テクノロジーおよび業務プロセス管理サービスをアロー社に提供してきました。今回の提携は、両社間の既存の関係をさらに拡大するものです。

### コメント

**アロー エレクトロニクス、グローバル ロジスティクス サービス事業部 バイスプレジデントTim Kolbus:**

「弊社は、業務プロセス管理サポートにおけるインフォシスとの長年の関係を競走上の強みと考えています。今回の新たな提携により、弊社がインフォシスの顧客だけでなく、インフォシス自体に対してもリバースロジスティクスおよび資産回収のプロバイダーとなることに伴い、両社の結束が強化されます。」

**インフォシスBPO、最高経営責任者兼マネージング ディレクター Gautam Thakkar:**

「今回の提携は、エンド ツー エンドのサービス デリバリー統合ソリューションを融合した効率的なIT 資産管理プロセスのメリットを生かすことにより、費用効率の高いテクノロジー導入の監督方法をお客様へ提供します。アロー社のような顧客とのコラボレーションは、弊社のイノベーション加速戦略の重要な部分です。弊社は、アロー社と共に、企業が IT 資産、プラットフォームおよび設備をより賢く効率的に管理するお手伝いをします。」

### 関連記事

- [インフォシス BPO、アルコアとの契約を更新](#)
- [インフォシス BPO の子会社 McCamish Systems が Pegasystems Inc との戦略的提携を発表](#)
- [インフォシス BPO、MortgageFlex と提携](#)
- [アロー社の価値回収サービス](#)

### アロー社について

アロー エレクトロニクス ([www.arrow.com](http://www.arrow.com)) は、電子部品およびエンタープライズ コンピューティング ソリューションの産業用・商用利用者に対し製品、サービスおよびソリューションを提供する世界的プロバイダーです。同社

は、世界 55カ国の 470カ所以上のグローバル ネットワークを通して 10万社以上の OEM、委託製造企業および法人顧客のサプライ チャンネル パートナーとして活動しています。

### 当社について

インフォシスはビジネス コンサルティング、テクノロジー ソリューション、アウトソーシング ソリューションのグローバル リーダーです。当社は 30カ国以上の国々のお客様が競合他社をしのぎ、新たなビジネストrendの一步先を進むことができるよう、戦略的インサイトと優れた実行力を融合した画期的なソリューションの共同開発を通して、絶え間なく変化する世界でお客様の変革や繁栄を支援します。

[www.infosys.com](http://www.infosys.com) を訪れ、年商 74億ドル、従業員数16万人以上のインフォシス (NYSE: INFY) が、今日どのように未来企業を構築しているかをお確かめください。

### インフォシス BPO について

インフォシス リミテッドのビジネス プロセス アウトソーシング事業を担う子会社であるインフォシス BPO ([www.infosysbpo.com](http://www.infosysbpo.com)) は、2004年4月に創立しました。インフォシス BPO は、エンド ツーエンドの統合アウトソーシングを専門とし、コスト低減、継続的生産性改善、プロセス再構築などを通じて変革を行う上での様々なメリットをお客様に提供しています。インド、ポーランド、チェコ共和国、オランダ、南アフリカ、ブラジル、メキシコ、コスタリカ、米国、中国、フィリピン、日本、豪州で事業を展開し、2013年9月30日現在、28,277名の従業員を擁します。2012-13年度は 5億8310万ドルの売上高を計上しました。

### セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2012年会計年度 (2013年3月31日付) 年次報告書 (Form 20-F) と 2013年第 2 四半期 (2013年7月－9月期) (Form 6-K) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社 報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov) でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

### 連絡先

インフォシスリミテッド日本支店  
マーケティング マネージャー 安藤  
Tel:03(5545)3251 Email:[jo\\_ando@infosys.com](mailto:jo_ando@infosys.com)